

Peace Now! Nagasaki 2015

開催報告

開催概要

参加概要：

75名 (32大学生協5ブロック)

※実行委員、運営事務局含む

- 北海道 BK：北海道大学
- 東北 BK：福島大学/東北学院大学/東北ブロック
- 東京 BK：神奈川大学/芝浦工業大学/白梅学園大学/津田塾大学/東京大学/東京薬科大学
明治学院大学/早稲田大学/東京ブロック
- 東海 BK：金城学院大学/三重大学/東海ブロック
- 京滋奈良 BK：滋賀県立大学/奈良教育大学/立命館大学/龍谷大学/京都大学/京滋奈良ブロック
- 大兵和 BK：大阪教育大学/近畿大学/園田学園女子大学/兵庫県立大学
- 中四 BK：愛媛大学/岡山大学/四国学院大学/下関市立大学/松山大学
- 九州 BK：西南女子学院大学/筑紫女学院大学/長崎県立大学(佐世保校/シーボルト校)
琉球大学/九州ブロック
- 連合会：学生委員会/留学生委員会

日程：2015年8月8日(土)～11日(月)

開催場所：長崎大学 / 長崎市内 / ながさき式見ハイツ

獲得目標：●70年前の出来事と今を知り、平和について考える

- 様々な人と話し合い、平和への想いを深める
- 自分に何ができるかを考え、行動できるようになる

大まかな内容：

- ✓ 原爆の被害
- ✓ フィールドワーク
- ✓ 式典参加
- ✓ 被爆者講話
- ✓ 原爆が落とされた経緯、
「加害者」としての日本
- ✓ 日中、日韓関係
- ✓ 安全保障
- ✓ 核兵器
- ✓ 原発



詳しい内容や参加者の様子

* 1日目(8/8)

* 開会式



Peace Now! NAGASAKI 2015で大切にしていること。

長崎で感じる、学ぶ、考えること。

- ▶ 現地だからこそ、学べること。五感で感じてほしい。
- ▶ 現地でしか感じれないこと... 長崎で過ごす、この時間を大切に。

素直な想いや感情を大切に。

ここでは、平和を共に考える仲間がいます。言葉に表すことをどうか恐れなくて。あなたの想いや言葉が誰かの考えを深めるヒントになります。

* ①ナガサキの原爆被害

この時間では、ナガサキの原爆被害について、クイズ形式で学びました。また、ヒロシマの被害との比較も行いました。



「ナガサキ」と片仮名で表記されるのはなぜか？

* ②ナガサキを歩く～1日目～

1日目のフィールドワークでは、爆心地公園や、式典準備を行っている平和祈念公園へ訪れました。

<参加者の感想>

- ・ 式典の準備のためか、前来た時と違う印象を持った。噴水止まっていたり、外国人多かったです。
- ・ 平和祈念公園は住宅地や観光地から離れたところにあるのだと思っていたが、住宅地のすぐ近くにあり驚いた。爆心地公園もすぐ近くにあり、原爆と人々が生活している場所に落ちたことを実感した。

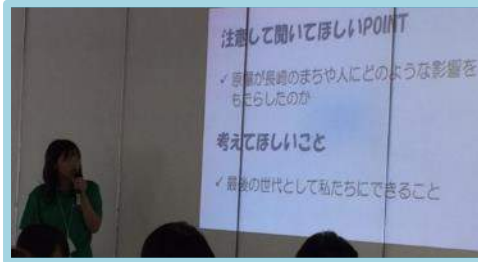


* ③被爆者講話

和田征子さん、木戸季市さんをお呼びし、被爆した当時のことや、被爆者として今考えていることを話していただきました。

＜参加者の感想＞

・ヒロシマとナガサキが核を使わない抑止力として存在しているというとてもすばらしいことが聞けた。やはり、核が戦争の抑止力となると考えている国が多いと思うので、そういう思想も受け入れてほしい。私たちは、直接被爆してなくて、被爆体験を話すのに少し引っかかるところがあるが、伝えていかないとを思いを大事にして伝えたいと思った。



* 2日目(8/9)

* ②ナガサキを歩く～2日目～



一本柱鳥居、浦上天主堂などの長崎市内にある被爆遺構や、原爆資料館、そして平和祈念式典へ参加しました。

＜参加者の感想＞

・山王神社の被爆クスが一番印象に残りました。理由はクスが被爆し、草木は75年生えないと言われていたのが、2年後新芽を出したことを聞いて、すごく生命力の強さを感じ、被爆者でない自分にさえ、これからの将来を生きるための力強さというか、希望を感じさせてくれたからです。
・実際に足を運んで見聞きするのが初めてだったので例年以上に会場の空気を深く味わうことができました。被爆者代表の方の平和への誓いが特に印象的でした。「生きている限り語り続ける」という近いは逆に言うと亡くなった後は語れないことを意味し、直接証言を聞いた自分達の世代の使命感を改めて感じました。



* ④原爆が落とされるまでの経緯を知る

これまで学んできた原爆について、落とされるまでに至った経緯について学びました。

<参加者の感想>

- ・長崎に原爆がおちることがなかったかもしれない可能性があったことを学んだ。アメリカ側に立ったら、落とすべきではないとは主張できないと思った。自国が逆に原爆を落とされるかもしれないという恐怖があると思った。
- ・色々な事柄があったことを知りました。自分が日本人だからどうしても品面を主に見てしまうけど、加害者からも見ないといけないなと思った。



* 3日目(8/10)

* ⑤「加害者」としての日本を知る

戦争の加害面を切り口に、「岡まさはる記念長崎平和資料館」への見学や実行委員の学習会をもとに意見交流しました。

<参加者の感想>

- ・自分は加害面に焦点を当てた資料館に行ったのは初めてだったので、様々な写真などの資料が新鮮に感じた。原爆を通して、我々に日本人はどうしても被害面にばかり目を向けてしまうが、このような事実にもしっかり考察していく必要性を感じた。
- ・資料やマンガ、ドラマ、映画などで加害面の内容やひどさを知っていたはずなのに、初めて学んだような感覚だった。今まで怖かったり見ていられなくて目をそらしていたことに気づいた。逃げずに受け止めなければいけないと思った。

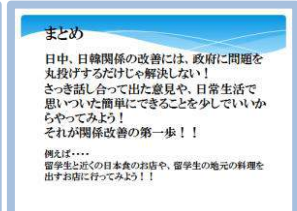


* ⑥日中、日韓関係ってなんでここまでこじれたんだろう??

日中、日韓関係の、領土問題に焦点を当て学習会および意見交流をおこないました。

<参加者の感想>

- ・私的に初めは興味のなかったのだが、班員の話聞き勉強になった。日中・日韓関係もよりよく解決してほしい。
- ・留学生チューターをしている自分だけができることがもっとあるんじゃないかと感じた。
- ・お互いの国が対立している状態ではあるが、正しい歴史を勉強した上で、お互いを理解し合う心をもっていく必要があると思った。

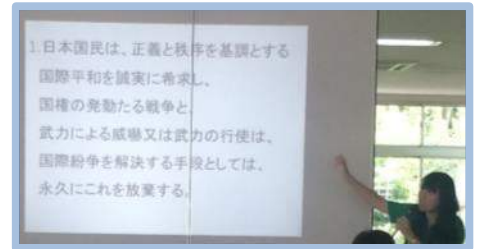


* ⑦日本の安全ってどう守るんだろう？

今話題になっている集団的自衛権を含む、戦後の日本の安全保障について扱いました。

<参加者の感想>

- ・自分たちに十分な知識がない状態で、賛成とか反対とかを決めるのではなく、きちんと勉強し、自分の言葉に責任を持つことが大切だと思った。
- ・難しいけれど、どんなに考えが分かれようと、ベースには「戦争は反対」という考えがあった。
- ・研究テーマで「人間の安全保障」をやっていて、経済的・政治的など軍事的ではない手段での安全保障を調査しているが、今回軍事的手段についても学べてよかった。



* ⑧今の核兵器のこと、知ってる？

現在も存在する核兵器について、各国のスタンスや世界的な動きについて扱いました

<参加者の感想>

- ・日本はアメリカの核の傘に入っているという認識が全くなくて、とまどった。
- ・思っていたよりも多くの核兵器が存在していることを知り驚いた。どうやって核兵器を減らしていくべきか考えなくてはいけないと思った。
- ・世界ではまだまだ核兵器がある。一つでも減らし、平和な国を作りたい。本当に無くせるかなど議論した。

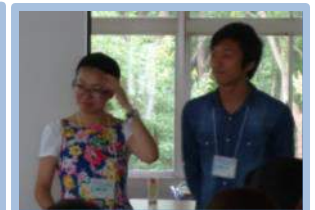


* ⑨原発と私たち

兵器以外の核としての原発について、現在までの経緯や原発事故について学びました。また、福島大学の学生・院生の方に、フクシマがどのような状態だったのかを話していただきました。

<参加者の感想>

- ・すごく感動しました。福島の今の現状を知り、復興がやはりできるだけ素早くしなければならぬと思います。原発のことは絶対他人事ではないから。「話せないというのも伝える一つの手段」という言葉はすごかったともいます。
- ・原発のおそろしさを知りました。東日本大震災から時間がたちたわけでもないのに社会が関心を示さなくなったことに怖さと風化を感じました。



* ⑩冊子作成 / 大討論会

これまでの学びを冊子にまとめ、「平和とは」というテーマで交流を行いました。

<参加者の感想>

- ・自分にはない意見を聞くことができるとても新鮮だった。このような意見交換が大切なんだということを感じた。
- ・「平和とは互いの文化を理解することだ」という意見を聞いて感銘を受けた。(文化面から平和を考えたことがなかった)

